事業区分
教育

平成29年度　事務事業評価シート

事務事業名	小・中学校連合作品展	所管	教育委員会 指導課

事務事業の概要

行政計画	事業NO.	—	計画事業名	（行政計画外事業）
長期総合計画体系	［基本目標］ ［小　　柱］ ［施　　策］			
根拠法令等	その他	〔法令等名〕	案件ごとに起案	
事業対象	小・中学校児童生徒			
事業目的	児童・生徒の表現力や想像力の育成を図る。			
事業内容	2月中旬に東京都美術館で開催する展覧会で区立小・中学校の児童・生徒の作品を展示し、鑑賞の機会を設ける。			
委託の有無	一部委託	委託内容	会場設営、作品展示用品作成	
補助金の有無	なし			

事業の開始・終了年度	
［事業開始］	年度
［終了予定］	－　年度

事務事業の実績

種　別	指標の名称	（単位）	目標値（３１年度）	２６年度	２７年度	２８年度
活動指標	参加校	（校）	26	26	26	26
成果指標	作品展示数	（点）	4,000	4,000	4,000	4,000

		２６年度	２７年度	２８年度
決算額　（単位：千円）		786	703	655
事務事業コスト（単位：千円）	人にかかるコスト（人件費など）	255	241	268
	物にかかるコスト（物件費・維持補修費）	786	704	656
	その他のコスト（扶助費・補助費など）	0	0	0
	総経費	1,041	945	924
財源項目（単位：千円）	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）	0	0	0
	その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）	0	0	0
	一般財源（区負担額）	1,041	945	924

前回評価から改善した事項	なし

評価の視点

	評価	評価の理由
必要性	3	各校が毎年積極的に参加しており、美術・図工・技術等で培った豊かな表現力を発表する貴重な機会である。児童、生徒の創造力、表現力を培うためにも本事業の必要性は高い。
効率性	3	展示に使用する消耗品は、繰り返し使用できる耐久性を考慮し購入しており、効率的であるといえる。
手段の適切性	3	作品を運搬作業手順や会場利用についても適切であるといえる。
目的達成度	3	出展数および参加学校数とも学びの成果発表に達している。

［評価の理由］（区民生活への影響を十分考慮すること）

児童・生徒の情操教育のために、日常の学びの成果を発表する機会である本事業は、今後も継続していくことが望ましい。

評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
	維持	